

安全情報

～いかさま賭博詐欺多発注意喚起～

「自分の身は自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出にさせていただくため、安全情報を提供させていただきます。

1 いかさま賭博詐欺とは？

東南アジア系男女（彼らの多くはフィリピン人やインドネシア人を名乗ることが多い）が、主にプノンペン市内の観光地やマーケットなどにおいて、主に邦人旅行者に対して親しげに話し掛けて自宅に食事に誘った後に、いかさま賭博を持ちかけて、最終的にお金や携帯電話、カメラ等をだまし取るという被害が多発しています。

被害者は男女を問わず、また、2万ドルの被害に遭った方もおります。このいかさま賭博詐欺は東南アジア各国で以前から行われていたもので、カンボジアにおいても、2011年から急激に被害が増加しています。

2 いかさま賭博詐欺の発生件数

当館に対して、2011年16件、2012年16件、2013年7件のいかさま賭博詐欺の被害報告があり、今年に入ってから、5月18日現在で既に5件の被害報告があります。

これらの数字はあくまで当館が把握している被害件数ですので、実際の発生件数はこの数倍に上ると考えられます。

3 いかさま賭博詐欺の流れ

以下、実際にいかさま賭博詐欺の被害に遭った方の体験例をご紹介しますので、東南アジア系の男女が親しげに話し掛けてきた場合、ピンときてだまされないよう、御注意ください。

① まず、被害者が、観光地や繁華街を1人で歩いていると、自称フィリピン人（インドネシア人）の女性が親しげに声を掛けてきます。

女性「どこから来たの？」

被害者「日本からです。」

女性「私も日本に行ったことがあるわ。今度姪っ子が日本に地震被害のボランティアに行くのだけど、良かったら姪っ子に日本のことを聞かせてもらえないかしら？」

被害者「ええ。いいですよ。」

女性「じゃあ、お昼ご飯を一緒に食べながらにしましょう。私の家で食事をごちそうするわ。」



- ② この後、トゥクトゥクやバイクで女性宅へ移動しますが、その間、女性は運転手に指示をして、被害者が自宅の場所を覚えられないように複雑な道を通ったり、必要以上に被害者に話しかけたりします。



- ③ 家に着くと姪っ子はおらず、代わりに、自称カジノのディーラーであるおじさんと称する男性がおり、3人で食事をした後に雑談をします。

おじさん「あなたはブラックジャックを知っているかい？姪っ子が来るまでの間、あなたに教えてあげるよ。」

被害者「ルールなら知っています。」

おじさん「じゃあ、あなたに絶対に勝てる方法も特別に教えてあげよう。私はプロのディーラーだから私の合図に従っていれば、あなたは必ず勝てるよ。」

被害者「なるほど。おじさんの合図に従えば良いんですね。」



- ④ 自称カジノのディーラーが被害者にかさま賭博のやり方を教えます。

おじさん「実は、今からシンガポール人の富豪がここに来ることになっているのだが、彼はすごくケチで嫌な人間なのだよ。だから、今教えた方法で彼をだまして我々2人で彼からお金を巻き上げよう。」

被害者「えっ、それはちょっと…。」

おじさん「大丈夫。絶対勝てるから。」



- ⑤ ここでいきなり富豪が家に来て出口を押さえるため、被害者はカードゲーム賭博をやらないとは言えない雰囲気になり、仕方なくカードゲーム賭博に参加します。カードゲーム賭博は教わったとおりの方法で勝ち続けますが、最後のゲームで富豪が大金を賭けてきます。

富豪「私はこれだけ賭けるのだから、あなたもちゃんと支払い能力があるかどうか現金を見せてほしい。」

おじさん「我々は必ず勝てるからあなたもATMでお金を引き出してきてくれ。」

私も友人をあたってお金を集めてくるから。」



- ⑥ この後、被害者は最初に話しかけてきた女性にATMのある場所に連れて行かれ、その間、クレジットカードの限度額を聞かれます。



⑦ A T Mに到着後、女性に限度額いっぱい金額をキャッシングするよう指示されます。クレジットカードが使えなかった場合は、ショッピングモールの中の店に連れて行かれて、クレジットカードで宝石や高額携帯電話を限度額いっぱい買わされた後、それを現金に換えさせられます。



⑧ 現金を準備した後に彼らの自宅に戻ります。

おじさん「申し訳ない。私はお金を準備できなかった。明日までに必ずお金を準備するからカードゲームは明日続きをやろう。担保としてお金を預けてくれ。また、連絡をするから。」



被害者は言われたとおり彼らにお金を預けてホテル帰りますが、翌日には彼らと連絡が取れなくなり、いかさま賭博詐欺被害に遭ったことに気づきます。

4 いかさま賭博詐欺に遭わないために

- 見知らぬ者に声を掛けられても不用意に相手にしない！
- 言葉の異なる国で日本語を聞くと安心してしまいがちだが、警戒心を常に持つ！
- 間違っても自宅までついて行かない！

突然親しげに声を掛けてくる人物に対して安易に気を緩めたりせず、常に警戒心を持っておくことが肝要です。自宅まで行ってしまうと巧妙にいかさま賭博への参加を強要され、逃げ出せなくなります。

また、いかさま賭博ではありませんが、道端で親しくなった者に言葉巧みに路地裏等の人気のない場所へ連れて行かれ、金品を強奪されるという事件も過去に発生したことがありますので、自宅でなくとも不用意についていくのは避けてください。

途中でいかさま賭博詐欺に気づいて逃亡を図り、運良く無事に帰ることが出来た方もいますが、中には、相手の態度が急変して、暴行を受けて金品を強奪された方もいますので、やはり自宅まで行ってしまうと抜け出すのは容易ではないと思ってください。

いかさま賭博詐欺は、日本人の優しさとはっきり断れない性格につけこんだ巧妙な犯罪で、20年前から発生しているにも関わらず、被害数がいっこうに減っていません。

カンボジアを含む東南アジアにはこのような犯罪があるということを覚えているだけでも、被害を未然に防ぐことができますので、頭の片隅に留めおいてください。